

<p>タイトル</p>	<p>2025 年度 一般選抜(前期日程)</p> <p>共同教育学部(芸術・生活・健康系) 小論文</p>
<p>評価の ポイント</p>	<p>小論文では、教職を目指すために必要な基礎学力、自分の考えを的確に表現し他者に伝えることができる力を評価し、特に論理的整合性を重視した。</p> <p>問1では、問題文をよく理解した上で、適切な個所を引用し、論理的整合性のある文章にまとめることができているかどうかを主たる評価の観点とした。</p> <p>本文中で筆者が「想像力」について説明している箇所は大きく二つのブロックに分かれる。まずは、7頁の下から11行目から始まるパラグラフである。ここでは「想像力というのは、ランダムにたくさんの候補を思いついて、その中からよりよいものを拾い上げて行動する能力」と書かれている。次に、8頁の上から14行目には「枠をはみ出したり、枠を乗り越えたりしようという意識の原動力が想像力であり」と書かれている。これらの二か所から適切に引用した上で、文章を組み立てていることを評価のポイントとした。</p> <p>問2では、問題文を自分なりに読み解いたうえで、教職を目指す者としての見方・考え方を論理的整合性のある文章としてまとめることができているかどうかを主たる評価の観点とした。</p> <p>まず、問題文において「小学校・中学校・高等学校における任意の教科を一つ選び」とあることから、明確にその教科・科目名を示すことが必須となる。なお、本問は芸術・生活・健康系の共通問題であるが、解答にあたってはこれらに該当する科目（例えば、音楽・美術・家庭・保健体育など）に限定するものではない。これら以外の教科を選択しても平等に採点されている。</p> <p>また、問題文に「本文をふまえて」とあることから、本文で示されている「想像力」の解釈に基づいているかどうかも評価のポイントとなる。なお、これは必ずしも筆者の主張する「想像力」に賛同することを意味しない。問題文中における「想像力」の捉え方に言及しながら、自分自身が選択した教科・科目に引き寄せて考えをまとめることができているかどうか重視される。</p> <p>解答例として、「ランダムにたくさんの候補を思いついて、その中からよりよいものを拾い上げて行動する能力」としての想像力に着目するのであれば、授業において様々なアイデアを共有する時間を設けることなどが具体的な案として考えられる。あるいは「枠をはみ出したり、枠を乗り越えたりしようという意識の原動力」として想像力を捉えるのであれば、児童や生徒の発言などを肯定的に受け入れていく教師の姿勢などについて書くこともできる。</p>